



Kobe Shoin Women's University Repository

KARASHI-DANE

凡例

著者	松蔭女子学院
著者別名	SHOIN JOSHIGAKUIN
雑誌名	松蔭女子学院史料
巻	10
ページ	6-6
発行年	2017-11-01
URL	http://id.nii.ac.jp/1044/00002005/

凡 例

- 1) “WINDOW ON JAPAN”の英文は原本のコピーをそのまま使用して左側に配し、その右側に邦訳文を配した。
- 2) 文中の（ ）は、そのまま用い、訳注として〔 〕を用いた。
- 3) 原文中の誤記と思えるものには網掛けを施し、翻訳においてこれを訂正した。なお、誤記については、巻末の正誤表においてこれを示した。

例 1) 7 ページで広島の特産物として persimmons(柿)が紹介されているが、それを oysters(牡蠣)の誤記であろうと考え、oysters として翻訳した。

例 2) 58ページの、広島への原爆投下の two days later は明らかに three days later の間違いである。ただ、原文に写真コピーを採用して原文中の訂正が不可であるため、two days later に網掛けを施しそれが誤記であることを示すとともに、正誤表においてその誤りを指摘したうえで、three days later として翻訳を行なった。

- 4) 全編を通じて左右対照を最優先した。そして訳文は、一文一文にはこだわらず、パラグラフ単位で正確さを期するように努めた。例えば 8 ページ〔原典 6 ページ〕の「Queen of the mountains」という件など、^{くだり}霊峰「富士のお山」ということばを入れたかったために、4 行も後になって「それこそ山の女王の威厳をもって聳え立っており」としたのもその一例である。
- 5) 本書のページ番号は各ページの下部に示したが、それと併行して、両書原文のページ番号を各ページ上部にも付した。
- 6) Leonora Edith Lea 年譜は『松蔭女子学院史料 第九集』所収のものを補訂したものを再録した。